

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 精工技研
 コード番号 6834 URL <http://www.seikoh-giken.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者(役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 上野 昌利
 (氏名) 斎藤 祐司

TEL 047-388-6401

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,509	16.6	△80	—	△62	—	△99	—
25年3月期第1四半期	1,294	7.0	△30	—	△5	—	△43	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 182百万円 (62.1%) 25年3月期第1四半期 112百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△10.91	—
25年3月期第1四半期	△4.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	22,756	19,716	86.6	2,155.31
25年3月期	20,826	19,576	93.9	2,140.34

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 19,699百万円 25年3月期 19,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,180	73.0	0	—	30	481.8	△100	—	△10.94
通期	10,000	100.5	250	—	330	—	50	—	5.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	9,333,654 株	25年3月期	9,333,654 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	193,720 株	25年3月期	193,720 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	9,139,934 株	25年3月期1Q	9,139,983 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国が緩やかな回復基調で推移したものの、欧州においては金融危機に起因する景気低迷が依然として続き、これを受けて中国やアジアの新興国経済も成長スピードが鈍化することとなりました。一方、我が国経済は、昨年末の政権交代以来、過度な円高が是正される中で輸出関連企業を中心に回復機運が高まっています。

当社グループが関わるエレクトロニクス関連や情報通信関連の市場においては、スマートフォンやタブレット端末等のモバイル関連機器の普及が一段と加速しました。インターネットを介して世界を流通するデータトラフィック量の増加に対応するため、高速化、大容量化の技術が進化すると共に、光通信回線網の敷設や、携帯電波を中継する基地局の増設が進んでいます。一方で、モバイル機器は機種変更が頻繁に行われるほか、これらの機器や通信サービスのエンドユーザーへの提供価格は下落スピードが早く、市場における競争環境は厳しさを増しています。

こうした経営環境の中で当社グループは、精密金型技術と精密加工技術の応用により、各種金型や薄肉成形品、高耐熱レンズ等を主力製品とする精機関連と、光通信網の敷設に用いられるコネクタ等の各種部品や、その部品を製造するための装置、光ファイバの特性を活かした光電界センサ等を主力製品とする光製品関連の両セグメントにおいて、既存顧客の維持と新規顧客の開拓に取り組みました。期中には、精機関連の成形品ビジネスをより拡大するために、不二電子工業株式会社の株式を取得し、連結子会社に加えました。自動車業界に強い顧客基盤を持つ同社をグループに加えたことで、より幅広い領域において社会の発展に貢献すると共に、グループ内のシナジーを創出することで、より安定的な企業成長を実現する体制を整えることができました。

こうした結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は1,509,420千円（前年同四半期比16.6%増）となりました。損益面においては、比較的採算性の良い光ディスク金型や高耐熱レンズの売上が伸びず、営業損益は80,975千円の営業損失（前年同四半期は30,494千円の営業損失）となりました。経常損益は、為替差益25,777千円を計上したものの、62,913千円の経常損失（前年同四半期は5,167千円の経常損失）となり、法人税等を控除した後の四半期純損益は、99,697千円の四半期純損失（前年同四半期は43,764千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 精機関連

光ディスク成形メーカー各社の新規設備投資は停滞しており、当第1四半期連結累計期間はブルーレイ・ディスク成形用金型や交換部品、金型メンテナンスの売上が低調に推移することとなりました。また、スマートフォンや携帯電話に搭載されるカメラ向けの高耐熱レンズも、顧客の機種変更に伴う仕様の見直しにより受注が減少しました。こうした中、5月31日付で不二電子工業株式会社を連結子会社に加えました。同社の自動車用センサーは、市場の成長を背景に売上を伸ばしています。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の精機関連の売上高は658,923千円（前年同四半期比73.5%増）となりました。営業損益につきましては、比較的採算性の良い光ディスク金型や高耐熱レンズの売上高が伸びず、88,904千円の営業損失（前年同四半期は5,203千円の営業損失）となりました。

② 光製品関連

光回線を流れる情報データの増加に伴い、光通信用部品の所要量は世界的な規模で拡大しています。並行して、これらを製造するために用いられる光コネクタ研磨機や検査装置等の需要も、中国を中心に増加基調にあります。しかし一方で、規格品の多い光通信用部品はコモディティ化が著しく、価格の下落が恒常化しています。こうした中、中国の子会社を中心に、材料調達コストの削減や生産性の向上、製品設計や仕様の見直しに注力しました。また、狭いスペースにおいても多数の配線を実現する多芯コネクタ等の製品開発に取り組みました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の光製品関連の売上高は850,496千円（前年同四半期比7.1%減）となりました。営業損益につきましては、比較的採算性の良い製造機器等の売上が増加したことから7,929千円の営業利益（前年同四半期は25,290千円の営業損失）を計上することができました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は22,756,147千円となり、前連結会計年度末から1,929,581千円増加いたしました。流動資産は12,332,562千円となり、前連結会計年度末から2,534,872千円減少いたしました。その主な要因は、不二電子工業株式会社の株式取得等により、現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は10,423,585千円となり、前連結会計年度末から4,464,453千円増加いたしました。その主な要因は、不二電子工業株式会社を連結子会社に加えたことにより、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、のれん等の固定資産が増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は3,039,489千円となり、前連結会計年度末から1,789,609千円増加いたしました。その主な要因は、不二電子工業株式会社を連結子会社に加えたことにより、買掛金や退職給付引当金等が増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は19,716,658千円となり、前連結会計年度末から139,971千円増加いたしました。その主な要因は、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、現在まで概ね計画の範囲内で推移しており、平成25年5月10日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,580,693	8,421,471
受取手形及び売掛金	1,121,795	1,945,265
商品及び製品	253,344	313,202
仕掛品	255,659	453,071
原材料及び貯蔵品	456,952	641,704
未収還付法人税等	11,071	21,177
その他	193,003	542,601
貸倒引当金	△5,085	△5,931
流動資産合計	14,867,434	12,332,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,017,659	5,067,918
減価償却累計額	△2,369,171	△3,224,879
建物及び構築物(純額)	1,648,488	1,843,039
機械装置及び運搬具	2,109,670	4,345,175
減価償却累計額	△1,875,514	△3,619,851
機械装置及び運搬具(純額)	234,156	725,324
土地	2,035,325	2,246,539
建設仮勘定	206,824	362,825
その他	1,685,348	4,240,849
減価償却累計額	△1,459,702	△3,832,981
その他(純額)	225,645	407,868
有形固定資産合計	4,350,440	5,585,597
無形固定資産		
のれん	—	2,492,489
顧客関連資産	—	666,685
その他	56,605	73,434
無形固定資産合計	56,605	3,232,609
投資その他の資産		
投資有価証券	550,480	570,117
投資不動産	932,756	937,741
その他	68,848	97,518
投資その他の資産合計	1,552,085	1,605,378
固定資産合計	5,959,131	10,423,585
資産合計	20,826,566	22,756,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	189,650	1,023,024
未払法人税等	24,109	111,723
賞与引当金	—	100,735
その他	380,582	682,257
流動負債合計	594,341	1,917,741
固定負債		
退職給付引当金	411,133	645,132
長期未払金	145,370	145,370
長期預り保証金	77,098	72,815
長期預り敷金	19,037	19,037
繰延税金負債	2,899	168,043
その他	—	71,349
固定負債合計	655,538	1,121,748
負債合計	1,249,880	3,039,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,791,682	6,791,682
資本剰余金	10,571,419	10,571,419
利益剰余金	2,795,903	2,650,506
自己株式	△427,246	△427,246
株主資本合計	19,731,759	19,586,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	927	551
為替換算調整勘定	△170,079	112,507
その他の包括利益累計額合計	△169,151	113,059
新株予約権	14,078	16,012
少数株主持分	—	1,223
純資産合計	19,576,686	19,716,658
負債純資産合計	20,826,566	22,756,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,294,903	1,509,420
売上原価	863,025	1,059,789
売上総利益	431,877	449,630
販売費及び一般管理費	462,371	530,605
営業損失(△)	△30,494	△80,975
営業外収益		
受取利息	6,413	4,931
受取配当金	126	154
業務受託料	21,208	—
投資不動産賃貸料	9,730	12,386
為替差益	2,250	25,777
その他	3,932	4,104
営業外収益合計	43,662	47,355
営業外費用		
不動産賃貸原価	2,787	3,948
支払手数料	15,282	—
持分法による投資損失	—	24,810
その他	265	534
営業外費用合計	18,335	29,293
経常損失(△)	△5,167	△62,913
特別利益		
固定資産売却益	4	675
特別利益合計	4	675
特別損失		
固定資産売却損	—	141
固定資産除却損	1,284	—
特別損失合計	1,284	141
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,447	△62,379
法人税、住民税及び事業税	32,303	34,472
法人税等調整額	5,013	2,758
法人税等合計	37,316	37,231
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△43,764	△99,610
少数株主利益	—	87
四半期純損失(△)	△43,764	△99,697

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△43,764	△99,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,419	△375
為替換算調整勘定	157,801	249,336
持分法適用会社に対する持分相当額	—	33,250
その他の包括利益合計	156,382	282,211
四半期包括利益	112,618	182,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,618	182,513
少数株主に係る四半期包括利益	—	86

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	379,797	915,105	1,294,903
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	379,797	915,105	1,294,903
セグメント損失(△)	△5,203	△25,290	△30,494

2. 報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	658,923	850,496	1,509,420
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	658,923	850,496	1,509,420
セグメント利益又は損失(△)	△88,904	7,929	△80,975

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、不二電子工業株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「精機関連」のセグメント資産が、6,307,801千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「精機関連」セグメントにおいて、不二電子工業株式会社の株式を取得し、連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、2,492,489千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。